

長野県農業大学校学校評議委員会質疑・意見交換要旨

平成26年2月24日

学校会議室

質疑・意見	回 答
<p>中村委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々改善がされており、委員としてもうれしい。 ・学生確保活動「A」だが、各コースとも定員割れとなっており、評価の観点は如何に <p>・Iターン2名を合格させたこと、学校として大変だが頑張ってもらいたい。第1期生として育つことを期待している。</p>	<p>定員確保の観点より、いかにPRをしたかの観点を考慮した。例えば、計画していなかったテレビ媒体の活用や職員の働きかけ活動など計画を上回ることをした点などを評価した。</p> <p>農地基盤の確保など積極的な支援をしたい。</p>
<p>斎藤委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員3年目だが、詳しく説明を受けた。 ・学校評価の手法も、生徒や保護者に匿名でのアンケートを評価の一部とする流れがあるので、参考とされたい。 ・教育環境の整備が行われることに予算が付いてよかった。 	<p>高校等の事例を参考にしたい。</p>
<p>荻原委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価することは良いことだが、机上だけでは困る。 ・新コースは年齢差がある。学生は覚悟と努力が必要。学校は、農業でめしを食う力、人として伸びる力をつける努力をしてほしい。 ・新コース生には、時にはきびしい教え方も必要。覚悟を決めさせることが大事。 ・成功している農業者は、想いを持って作っている。実施作業や販売でこれをプレゼンテーションできる能力が必要。農業はおもしろい未開な部分があるので、挑戦させてほしい。 ・販売指導は農大教授では無理だろう。外部の人の活用やケースを与え考えさせ、体験させることがよい。 	<p>御意見を参考にしたい。</p> <p>今の学生は荷造りの仕方では売れ行きが異なることも知らない。学習意欲もなく自ら考え行動ができない学生もいる。教授に求められても期待に添えない部分がある。</p> <p>農業の厳しさを教え込むことやプレゼンテーション能力をつけることなど工夫していきたい。</p>
<p>関委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢が高い新コース生がいる。一生を農業にかけたいと思う。1期生から大したものと言われるように育ててほしい。 	<p>期待に沿えるよう努力したい。</p>